

Q.

「青森発祥の地」はどこにありますか？

A.

青森発祥の地とは、地名の由来となった「青い森」の所在地をいいます。もちろん、これは伝承の域を出ないので実際に存在したか否かは分かりません。また、「森」という言葉から「樹木が多く茂る」ようすをイメージしがちですが、ここでの「森」は「丘」を意味しています。

さて、藩政時代以来の青森の地名伝承によると、「青い森」は「浜町蜷貝川外」にあったといえます。浜町とは当時の青森町の最も北側の街区で、現在の青森警察の北側の街区を「上浜町」といい、東方向に中浜町・下浜町と合わせて6街区続きます。また、蜷貝川は概ね現在の平和公園通りに相当します。

ですから、浜町を東に進み蜷貝川を越えた地点が「浜町蜷貝川外」と考えられます。現在の住所でいうと、青柳1丁目の南側もしくは同2丁目の北側辺りに比定されます。

「青森発祥の地」をめぐっては、かつての米町（現在の本町2丁目）とする説もあります。この説は、これも伝承ではありますが、この地にあったという「青森山」を「青い森」と混同したことによって生じた誤解です。こうした誤解が生まれたのは大正から昭和の初め頃であったとみられます。

〈参考文献〉

工藤大輔「あなたは地域の歴史に興味はありますか～歴史的事実と伝承の間に～」(『平成29年度青森県学術文化振興財団懸賞論文受賞論文集』2018年)